

小豆 名稱

〔本草和名十九〕小豆一名荅頭豆、豌豆、江豆、野豆、和名阿加阿都岐。

〔倭名類聚抄十七〕小豆附 本草云、赤小豆和名阿加、崔禹錫食經云、黑小豆、紫小豆、黃小豆、綠小豆、

〔箋注倭名類聚抄九〕本和名阿加、崔禹錫食經云、黑小豆、紫小豆、黃小豆、綠小豆、

綠豆已上八種出崔禹此所引節是文而青白二種似不可省其綠小豆彼引作綠豆恐誤脫說文荅

小赤也、本草稷米條陶注引董仲舒云、小豆一名荅、有三四種、李時珍曰、赤小豆以緊小而赤黯色者

入藥、其稍大而鮮紅淡紅色者並不治病、俱于夏至後下種、苗科高尺許、枝葉似豇豆、葉微圓峭而小、

至秋開花似豇豆花而小、淡銀褐色、有腐氣、結莢長二三寸、比綠豆莢稍大、皮色微白帶紅、三青二黃

時即收之、

〔伊呂波字類抄安〕小豆アツキ 赤小豆アカアツキ 頭豆 豌豆 江豆 野豆 豔

已上五名出疏 文、アカアツキ、

〔運步色葉集阿〕紅豆アツキ

〔大上臈御名之事〕女房ことば

一あづき あかとも あか／＼ 共

〔朱氏談綺下〕赤豆アツキ 紅豆色深紅ニ云唐アツキ、唐山ニテモ食品不充

〔段注說文解字下〕荅禮注有麻荅、廣雅云、小、从艸合聲部合切、

〔日本釋名下〕赤小豆 あハ赤也、つきハとけ也、他の穀よりやはらかにして、煮てはやくとけや

すし、又つきハもちなどにつくるなり、

〔東雅十三〕豆マメ 小豆をアツキといふは、アは小也、ツキはツムギといふが如し、中 其莢

の少しきにして、角あるをいふ也、

〔成形圖說五十八〕阿豆古事記、即小豆也、